

事業番号	10 04 05	事業改善シート（令和3年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	県営林事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
		実施期間	S47 ~	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 持続的かつ自立した林業経営を図るため、伐期の多様化や適地適木による多様な森林の造成を行うとともに、新たな課題や要請に対応することにより、「地方林業の経営に模範を示し、もって林業の振興発展に寄与する」という県営林の目的の高度発揮を目指す 【これまでの取組】 県営林の森林整備（再造林、保育）及び生産物処分事業による収入の確保（搬出間伐、主伐）、路網整備（作業道の補修及び改良）、森林・林業技術に関する試験研究の実施、森林を利用した地域活動へのフィールドの提供				
	令和2年度点検結果 (令和元年度実施事業分) 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 県営林は、人工林の4割が60年生以上となっており、持続的な森林資源の循環を行うため主伐を計画的に進めていく必要がある。 財源の確保のため、主伐や搬出間伐を計画したが、新型コロナウイルスの影響により、木材市場等の受け入れのストップや材価の下落により、ほぼ実施できなかった。 過去に主伐を実施した箇所、想定以上の獣害被害により再造林ができていない。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 木材市場等の状況も見据え、発電用材としての利用など、需要にも応じた県営林材の利用の検討と、効率的に材の搬出を進めるための路網整備の実施により、主伐を計画的に進め県営林資源の有効な活用を図る。 伐採地を再造林する際に、適切な獣害対策や現場状況に応じた大苗や低密度植栽の検討など県営林の有する機能や地域の特性に配慮した森林づくりを着実に進めていく。 </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 県営林は、人工林の4割が60年生以上となっており、持続的な森林資源の循環を行うため主伐を計画的に進めていく必要がある。 財源の確保のため、主伐や搬出間伐を計画したが、新型コロナウイルスの影響により、木材市場等の受け入れのストップや材価の下落により、ほぼ実施できなかった。 過去に主伐を実施した箇所、想定以上の獣害被害により再造林ができていない。
課 題	今後の方向性				
<ul style="list-style-type: none"> 県営林は、人工林の4割が60年生以上となっており、持続的な森林資源の循環を行うため主伐を計画的に進めていく必要がある。 財源の確保のため、主伐や搬出間伐を計画したが、新型コロナウイルスの影響により、木材市場等の受け入れのストップや材価の下落により、ほぼ実施できなかった。 過去に主伐を実施した箇所、想定以上の獣害被害により再造林ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 木材市場等の状況も見据え、発電用材としての利用など、需要にも応じた県営林材の利用の検討と、効率的に材の搬出を進めるための路網整備の実施により、主伐を計画的に進め県営林資源の有効な活用を図る。 伐採地を再造林する際に、適切な獣害対策や現場状況に応じた大苗や低密度植栽の検討など県営林の有する機能や地域の特性に配慮した森林づくりを着実に進めていく。 				

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 県営林事業 ・主伐、搬出間伐のための調査区域の減による減額 ・生産される木材の運搬や県営林を巡視等管理するための路網の開設、改良、補修の事業費確定による減額 ・森林整備の事業費確定による減額
------------------------	---

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末	R3年度目標値	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度		
1	県営林生産物処分材積(m3)	14,446	5,987	↓	1,414	↓	24,829	28,465	24,374	7,387	
2	県営林間伐面積(ha)	90	45	↓	29	↓	133	336,083	379,437	342,943	
3	Jクレジット販売額(千円)	1,182	1,249	↑	7,722	↑	2,000	-103,718	-124,943	-82,663	
4								合計(A)	260,830	278,868	267,667
5								うち一般財源	164,518	161,299	160,022
								決算額(B)	227,115	264,664	
								職員数(人)	4.0	4.0	4.0
成果指標設定理由	1~3 県営林を適切に管理経営するための指標：第10次県営林管理経営計画における目標値に基づき設定										

事業番号 10 04 05 事業改善シート（令和3年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	県営林事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
-----	-------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算	
		1	県営林事業				
						補正予算	-82,663
		計	232,365	計	254,494	計	260,280
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	県営林内の森林整備	直接	保育間伐 7団地 23.4ha 搬出間伐 8団地 52.15ha 植栽・下刈 4団地 12.72ha 獣害防除 4団地 14.39ha
2	県営林内の路網整備	直接	作業道開設 1路線 100m 路網施設補修及び改良 12路線 1436m
3	県営林産物処分	直接	立木及び伐倒木処分 30,540m ³ J-クレジット販売 125t